

(For School teacher)

Form 5

平成 23 年 2 月 3  
日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 学校法人静岡理工科大学 静岡北高等学校

2. 参加研究者: Carlos B. Zavalaga, PhD

3. 実施日時: 平成 23 年 1 月 24 日 (月) 13 :30 ~ 15 : 00

4. 参加生徒: 1 年生 42 人、 年 生 人、 年 生 人 (合計 人)  
備考: 理数科の生徒

5. 講演題目: (英文) Introduction to the world of seabird biology  
(和文) 海鳥の生態調査について

6. 講演概要:

世界には 200 種以上の海鳥が生息している。海鳥の生態調査としては、海鳥にナンバリングを装着し個体数を確認、GPS を装着し行動域、移動飛距離を確認、さらには、小型カメラを装着して海上で他のどのような種類の海鳥と行動しているかを観察することなどがある。さらに、海鳥は海との関係が密接であるため、海洋環境調査の重要な指標としても捉えられている。本講義では、Carlos 先生が現在行われているペルーでの調査を紹介していただき、生徒たちは調査の意義、ペルー付近の海域の様子などについて知ることができた。また、「科学とは仮説と実証が一連の流れになっている」という先生の一言が印象に残る生徒が多かったようである。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:

(1) 講演時間 70 分 質疑応答時間 20 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)

プロジェクター使用による講義

(3) 通訳 (例:、外国人研究者本人による日本語説明)

受入研究者によるサポート

協力者 職・氏名

名古屋大学大学院環境学研究科 博士課程 1 年 白井 正樹

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

海洋環境に関する英単語リスト

9. 支給経費:  交通費  宿泊費  謝金

10. その他特筆すべき事項: 特になし